EPICWIN 5000CMKⅡはこの様な場所でお使いいただけます。

図書館で
分厚い本や貴重な文献、取扱いの難しい書物も傷つけることなく、すばやくきれいにスキャンできます。

美術館や博物館で
絵画などの美術本や展示品の立体物もスキャン。色味の気になる原稿もカラーで美しく再現します。また、額入りの作品もそのままスキャンできます。

入力サービス会社や企業の資料室で
バインドされた大量の資料をばらすことなくスキャニング。ページをめくるだけですばやくデーター化できます。

研究施設や医療機関で
模型や標本など精密な立体物も、高画質にスキャンできます。重く分厚い専門書も、上向きで快適にスキャン。

EPICWIN 5000CMKⅡの主な仕様

■スキャナー部の主な仕様（PS5000CMKⅡ）

形式	原稿上向きデスクトップスキャナー
読み取りセンサー	CCDエリアセンサー（1,054万画素）
光源（照明）	蛍光灯：18W×2
読み取り原稿サイズ※	見開き：A3、A4、A5、B4、B5　片ページ：A4、A5、A6、B5、B6
階調	カラー24bit/グレー8bit/モノクロ2値
出力解像度	200/240/300/360/400/600dpi
質量	約36kg（本体）
大きさ（幅×奥行×高さ）	673×614×827mm ※原稿ガラス押えキット装着時：874×687×827mm
最大消費電力	100W以下
電源	AC100V、50/60Hz
インターフェイス	USB 2.0
動作音：待機中/動作中	40dB（A）以下/60dB（A）以下
付加機能	センタリング、原稿曲がり補正、とじ部影除去、 文字縮み補正機能（原稿中央部：50'以下）

※被写体の深度によっては画像が欠ける場合があります。

EPICWIN 5000CMKⅡシステム（最小構成）

■コントローラPC

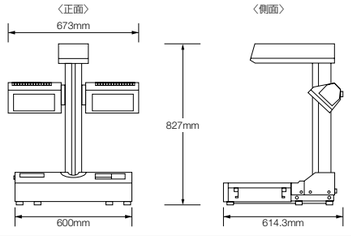
OS（32bit版のみ）	Windows XP Professional SP3以上/Windows Vista Business SP2以上/ Windows 7 Professional SP1以上
CPU	Core2 Duo 2Ghz以上
メモリ	2GB以上
HDD	1GB以上の空き容量

■液晶モニター

解像度	1024×768ピクセル以上

■寸法図（単位：mm）

スキャナー部（PS5000CMKⅡ）



■システム標準価格〈税別〉

マルチスキャニングシステム EPICWIN 5000CMKⅡ …… 1,950,000円
スキャナー本体（PS5000CMKⅡ）＋ソフトウェア（EPDAX）

本体標準商品パッケージ（同梱物）
●PS5000CMKⅡ本体、電源コード、USBケーブル、セットアップ治具セット、お客様登録書
●EPDAXアプリケーション ソフトCD、ユーザーマニュアル（PDF）、ユーザー登録カード

※本システムは、スキャナー本体とソフトウェア部はセットでの販売を基本とし、スキャナー本体（ソフト除く）の単品販売は致しておりません。

■オプション標準価格〈税別〉

原稿ガラス押えキット（MKⅡ用）	280,000円
ガラス押えスイッチキット※1	50,000円
ハンドスイッチ（MKⅡ用）※2	20,000円
フットスイッチ※2	20,000円

※1：ガラス押えスイッチキットを使用される場合には、別途原稿ガラス押えキットとハンドスイッチをご用意ください。
※2：ハンド・フットスイッチのスイッチ動作は、左右のプレビュー用のスキャンスイッチになりますのでスイッチは2つご用意ください。

フルカラー・フェイスアップブックコピーシステム

BookPro 5000CMKⅡ

フルカラーブックスキャナーとカラー複合機をパッケージし、タッチパネル操作でブック原稿を上向きのまま簡単にコピーできます。

カラー複合機対応機種
● bizhub C364　● bizhub C284
● bizhub C224

＊複合機は最小構成になります。＊写真はC364セットモデル。液晶タッチパネルは別途購入が必要です。

デジタルマイクロリーダープリンター&スキャナーシステム

MicroSP 6000MKⅡ（A4タイプ）
MicroSP 7000MKⅡ（A3タイプ）

高解像度600dpi、高速A3プリント、PCへのシステム拡張性。
多彩なデジタル機能を搭載した、
省スペース型のデジタルリーダープリンター&スキャナー。

標準価格〈税別〉
● MicroSP 6000MKⅡ …… 1,290,000円
● MicroSP 7000MKⅡ …… 1,838,000円

＊写真はMicroSP 7000MKⅡです。

※KONICA MINOLTAロゴ、シンボルマークはコニカミノルタホールディングス（株）の登録商標です。
※Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※その他のブランド名および製品名は各社の登録商標または商標です。
※製品の仕様・外観・価格は都合により予告なしに変更する場合があります。
※本紙掲載の商品の色調は印刷のため実物と異なる場合があります。
※本紙掲載の価格には消費税は含まれておりませんので、ご購入の際は別途申し受けます。
※本体価格には、消耗品類、その他関連商品は含まれていません。
※保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、機器の製造中止後7年間です。
※このカタログに記載されている商品は国内仕様のため海外では使用できません。

お問い合わせは、当社へ。

注意

安全にお使いいただくために
●ご使用の前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。●表示された正しい電源・電圧でお使いください。●アース接続を確実に行ってください。故障や漏電の場合、感電するおそれがあります。●水気、湿気、湯気、ほこり、油煙等の多い場所に設置しないでください。火災、感電、故障などの原因となることがあります。

VEGETABLE OIL INK　このカタログには植物油インキを使用しています。

コニカミノルタビジネステクノロジーズの生産事業所およびその生産関係会社の全てにおいてISO14001を取得しています。国内グループ販売会社の全拠点での認証を取得しています。

〈国内総販売元〉
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社
〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号
コニカミノルタ日本橋ビル

〈製造元〉
コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社

〈お問い合わせはフリーダイヤルでお気軽にどうぞ〉
〔お客様相談室〕 0120-805039
受付時間は土、日、祝日を除く9:00～12:00、13:00～17:00でお受けします。

■おことわり　確認のためお問い合わせ内容を録音させていただいております。ご了承下さい。
消耗品・修理・保守・サービスに関するお問い合わせは、ご購入いただいた当社販売店へご連絡ください。

製品についての詳しい情報は、インターネットでご覧いただけます。http: //bj.konicaminolta.jp

本紙の記載内容は2012年7月現在のものです。9251-0502-20　1207T P8

KONICA MINOLTA

EPICWIN 5000CMKⅡ

フルカラー・フェイスアップスキャナーシステム

ブック原稿や立体物のスキャニングからデーター編集までスマートに

A3対応フルカラー・フェイスアップスキャナーシステム

Giving Shape to Ideas

シンプルな原稿上向きセット方式と多彩な画像編集機能で原稿に、使う人に優しいスキャニングを。

EPICWIN 5000CMKⅡは、原稿を上向きにしたままスキャンし、画像の編集から配信まで一連のスキャン作業を効率化するシステムです。取扱いの難しい貴重な文献や分厚く重たい書籍も上向きセットで、原稿を傷めることなく、裏返す手間を省いてスキャンできます。取り込んだ画像の編集機能も搭載し、難しい操作を必要とせず配信まで行えます。原稿への負荷を配慮しながら、使う人にも優しいスキャニング環境を構築できます。

フェイスアップスキャナーとは?

通常のスキャナーの場合

原稿を持ち上げて下向きにセット。複数ページをスキャンする場合には、その都度セットしなければなりません。ページ数が多く重たい書籍などは、時間も掛かり大変な作業となります。

EPICWINの場合

EPICWINは原稿を上向きにセット。複数ページをスキャンする場合にも原稿を持ち上げる必要なく、ページをめくるだけで次々とスキャンできるので、作業効率が大幅に向上します。

メリット1 本を傷めないでスキャン

上向きセットにより原稿を押さえる必要がなく、無理な荷重がかからないため原稿の破損防止につながります。光源には蛍光灯を使用し、原稿の劣化を低減する工夫を施しています。

メリット2 立体物もスキャン可能

通常のスキャナーでは難しい立体物のスキャニングも、EPICWINなら原稿台に載せてそのままスキャンできます。デジカメ等での撮影に比べても、ブレが発生することなく、最適な照明で美しくデーター化できます。

※立体物については原稿台上がフラットな状態で5cmの高さまで読み取りが可能です。

スキャナー [PS5000CMKⅡ] Scanner

オプション装着で、さらに快適なスキャン作業を。

■ ハンドスイッチ・フットスイッチ

指または足でスイッチを押すとスキャンを開始でき、作業効率が大きく向上します。また、体の不自由な方にもお使いいただけます。

■ 原稿ガラス押え

指で押さえることのことのできない原稿に使用します。特殊なヒンジにより、重さを感じることなく開閉できます。

※写真はオプションの原稿ガラス押えキットを装着した状態です。

フルカラースキャニング

フルカラースキャニングに対応。美術本から貴重な文献、さらには遺跡の発掘品など、色鮮やかに取り込みできます。データー化することで、劣化のない美しい状態のまま保存できます。

最大600dpiの高解像度

200/240/300/360/400/600dpiで取り込み可能。原稿や目的に合わせて解像度を選択できます。また、光学解像度は360dpiに、CCDセンサーは1,054万画素へと大幅に向上。精密な標本や模型もクリアな画質で取り込みます。

左右分割可動式原稿台を採用

原稿台は左右分割可動式。原稿台の左右及び中央部が上下にスライドするため、分厚い書籍をどのページで開いても、左右のページがフラットになるようにセットできます。

ブック補正機能

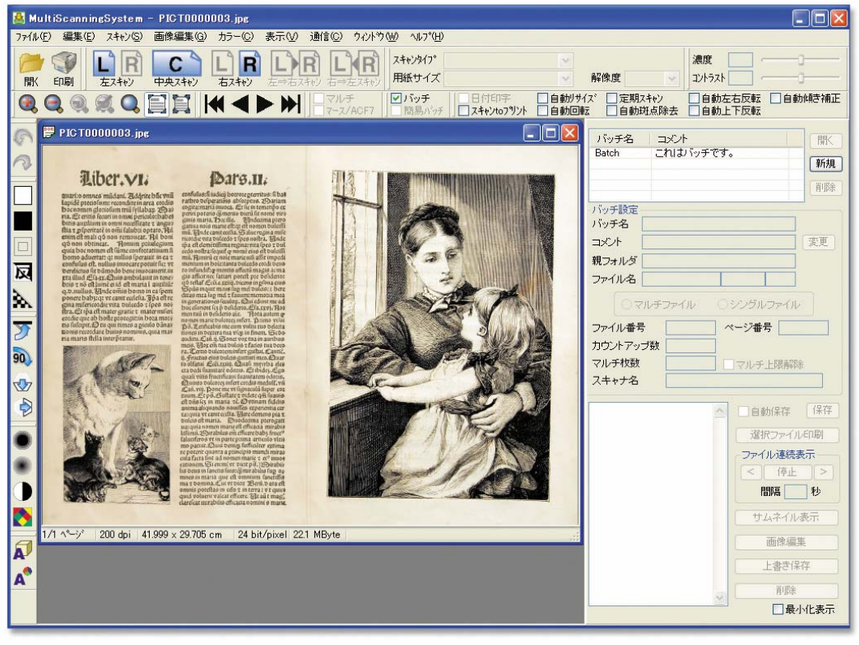
ブック原稿特有の湾曲やとじ部の文字組みなどを自動で補正するほか、とじ部影除去や枠消し、指消し機能等のデジタル補正機能を搭載。さまざまな原稿を自動的に美しく再現します。

■ブック補正機能

【湾曲補正※】	
・行曲がり補正	とじ部付近のたわみによって起こる、文字の歪みや行の傾きを補正します。
・文字圧縮補正	とじ部付近の湾曲による文字の圧縮を、自動で調整し文字のつぶれを防ぎます。
【とじ部影除去】	本のとじ部に発生する影を自動で除去します。
【センタリング】	画像が中心にくるように自動で位置補正します。
【指消し】	原稿両端を押さえている指を検知し、指部分のみを自動でマスキングします。
【枠消し】	原稿サイズと画像範囲を読み取り、原稿範囲外の影などを自動でマスキングします。

※原稿台からとじ部の角度が50度を超えると正しく補正されません。
また、一部の本によっては補正がかからないものもあります。

ソフトウェア [EPDAX] Software



使う人にやさしい操作性

大きく見やすいスキャンボタンや、拡大/縮小表示や画像編集機能など頻繁に使用する機能もボタンとして配置。パソコンに不慣れな方にも使いやすいインターフェイスで、安心して操作できます。

豊富な画像形式に対応

多くのファイルフォーマットに対応。用途に合わせて画像形式を選択し保存できます。スキャン画像をホームページや別のアプリケーションで使用するなど、データーの二次活用が容易に行えます。

■対応フォーマット

JPEG	JPEG2000
TIFF	BMP
GIF	PDF
PCX	CALS

多彩な画像編集/加工機能

スキャン時に編集を行う自動機能や、表現力を高める画像編集や画像エフェクトなど、多彩な編集/加工機能を用意。高度で本格的な画像処理を手軽に活用できます。

■ 傾き補正機能

傾いてスキャンされた画像を自動で補正することができます。

■ アノテーション機能

直線、四角、矢印等の様々なアノテーションを画像に貼り付けることができます。

■アノテーション機能(一例)

【分度器】	2本の直線で結ばれた頂点の角度を自動的に計測します。
【ルーラ】	マウスでクリックした2点間の距離を測ります。

■ 斑点除去機能(2値画像のみ)

スキャン画像にあるゴミのような斑点を自動で消去します。

■ 各種画像エフェクト機能

表示画像に様々な効果を与える本格的なフィルタが使用できます。

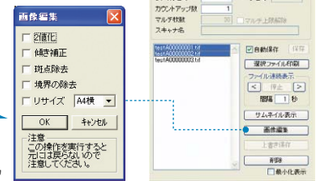
■画像エフェクト機能(一例)

【シャープネス】	エッジに強弱をつけます。
【ポスタライズ】	色数を減らし平板な画像にします。
【エンボス】	形押ししたような効果を与えます。
【メディアン】	ノイズ除去の効果を与えます。

バッチ機能

バッチ機能を使用すると、スキャンボタンを押すだけで保存場所やファイル名規則、保存形式などあらかじめ設定したルールに沿って画像を自動で保存できます。多ページにわたってのスキャン業務も、手間を軽減し効率よく作業できます。

バッチ処理にて保存したファイルに一括で、傾き補正や斑点除去などの画像編集を行うことができます。



画像編集ウインドウ

ファイル送受信機能

FTP送受信機能やメール送信機能を搭載。離れた場所にあるPCにも専用アプリケーションを使用せず、すばやくスキャン画像を送信できます。国立大学の図書館間で行われている文献のスキャン画像送受信にも使用可能、GEDIヘッダーにも対応しています。

■ FTP送受信機能

FTPを利用し、データーを送受信できます。容量の大きいデーターの送受信や、多人数でのファイル共有する場合に便利です。

*FTP送受信機能は、ネットワークの環境やファイヤーウォールの設定により送受信できない場合があります。

■ メール送信機能

スキャン画像をEメールに添付し、ファイルを送信できます。通常のメールソフトを介さずに、同様の操作で直接送ることができます。

*メール送信機能は、Eメールできる環境が必要です。